

平成22年3月定例会 総括質問

市政を問う

3月の定例会では10・11・12日に総括質問が行われ、14人の議員が質問に立ちました。

その主な内容を、紙面の都合上、1人2項目以内に要約して掲載しました。

掲載記事は、発言議員本人からの寄稿によるものです。

詳細な内容は、会議録を製本の後、三原市議会事務局、三原市役所情報公開コーナー、三原市中央図書館に常設します。また、三原市ホームページでも閲覧できますのでご覧ください。(会議録の製本には、議会終了後おおむね3ヵ月を要します。)

HPアドレス <http://www.city.mihara.hiroshima.jp>

→ 市議会 → 本会議会議録

三原市議会を市民の身近なものにするため、本年度下記の事業を実施します。

利用開始時期は7月を予定しています。

○インターネット配信事業

傍聴に來れない人や、テレビ中継を視聴できない人等が、いつでも本会議の審議状況を視聴できるように、本会議録画をインターネットを通じて配信します。

配信する録画は、平成21年5月臨時会（平成21年5月8日）以降の定例会・臨時会です。

○会議録検索システム事業

閲覧したい本会議会議録を、インターネットを通じて、いつでも容易に検索できるようにします。

検索可能となる会議録は、平成17年5月臨時会（平成17年5月18日～19日）以降の定例会・臨時会です。



みんなが健康に生活できる施策の充実



たかき たけこ
高木 武子 議員

問 ①地域の健康づくり推進委員の現状と活動はどうなっているのか。②リージョンのフィットネス教室にインストラクターの配置や、地域におけるフィットネスの器具やトレーニング器具の配置はどうか。③がん撲滅のまち三原、子宮頸がんのワクチンの予防接種に公費負担や前立腺がんの検診の自己負担の無料化を検討してはどうか。

答 ①健康づくり推進委員は、研修等に参加し、地域での活動は健康体操のしく歩こう会、ふれあいウォークラリーなどが実施されている。②リージョントレーニング室については、日時を決めての専門のインストラクター配置について検討する。地域に健康づくりのための専用器具を配置することは困難だが、引き続き主催教室などを通じ

観光資源の整備、充実へ向けた施策について

て市民の健康づくりを支援する。③子宮頸がんのワクチンの予防接種は厚生労働省の、動向を見ながら公費負担について検討する。前立腺がん検診の自己負担の無料化は、検討する。

問 ①本市のたこ、魚料理、名物の販売、観光地の紹介をする、(仮称)

「三原観光物産館」を三原駅に面した一角に設置してはどうか。②筆影山、竜王山の環境道整備、佛通寺の観光化、点から線に結ぶ観光のあり方をどうするか。

答 ①JR三原駅に面する一角に観光拠点が設置されれば、観光面では非常に効果が大きく、可能性を探っていきたい。建

設中の三原バイパスの道の駅も観光拠点の1つである。②筆影山、竜王山の整備については、急峻な地形が阻害要因となっており、道路の拡幅、駐車場の拡張は困難である。ガイドレールや案内板は必要が認められれば整備していきたい。佛通寺整備については、佛通寺との連携を図りながら整備事業を進めていきたい。本市の観光戦略は、「点を線に、線を面に」を基本方針に取り組んできた。いくつかの観光スポットを組み合わせ、相乗効果、満足度を高めることが必要である。



佛通寺

新庁舎建設計画の見直しについて



ひやま さちろう
松山 幸三 議員

問 財政の健全化のため、大きな財政負担を伴う新庁舎建設計画の見直しについてきく。

放課後児童クラブに加えて、今年度から放課後

子ども教室が南小学校に開設されるなど、学校の役割が増大する現在、「受けてみたい三原の教育」の環境づくりのためにも、長年の課題である南小学校と第三中学校のグラウンドの共用解消のために、帝人用地を活用したらどうか。

答 新庁舎の建設は合併協議で新市建設計画の共通事業とされ、市議会の特別委員会からも建設に向けての一定の方針が中間報告されている。しかし状況が変わり、事業費の見直しや繰り延べも避けられない状況である。新年度予算は市民生活に直結した事業を最優先で取り組むこととし、新庁

舎関連の経費は計上していない。南小と三中のグラウンド共用の改善は、従来からの課題となっている。



取得予定の帝人用地

人件費も財政の逼迫に応じて柔軟性を果たすべきについて

問 予算書を見ると、個人市民税が前年比7・9

%の減、法人市民税に至っては21・7%の減である。これは財政的には税の減収だが、市民の生活面から見れば生活の疲弊ぶりを示している。が今年度も1・07%の昇給が予定されている。人件費が聖域化し硬直化してくると、市民サービスへ悪影響が出てきて、「市民ニーズを的確にとらえて市政に反映する」のが難しくなってくると考える。この地域の50人規模の事業所の給与状況を勘案斟酌して、地域の実情を反映した給与状態にすべきであると考えがどうか。

答 三原市行財政改善大綱あるいは財政健全化計画に基づいて、事務事業の見直しや民間委託、指定管理者制度の活用、職員定数の削減、給与の適正化等で総人件費の抑制を積極的に進め、行政の効率的な運営と財政の健全化に一定の成果をあげている。公務員の給料は人事院の勧告に準拠して決定しており、平成21年度もこの勧告に基づき給料の引き下げや期末勤勉手当の削減をしている。

三原バイパスの道の駅について



仁ノ岡 範之議員
にのおか のりゆき

問 三原「道の駅」の進捗状況はどうか。

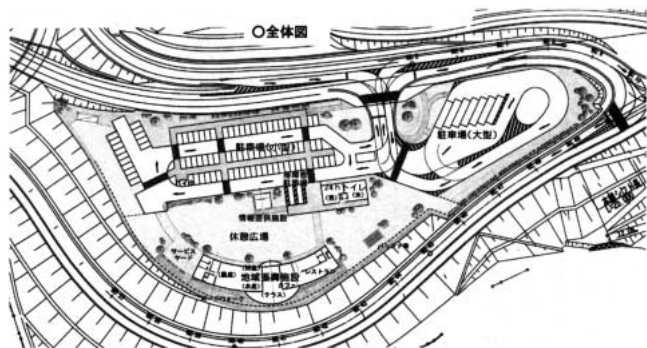
答 平成21年度は、基本計画の策定及び造園土木の基本設計を行うため、整備事業検討委員会を設置した。3回の委員会を開催、その間先進地の視察を行うなど「道の駅」の駐車場、トイレ、情報提供施設及び地域振興施設等の規模や配置について検討した。

運営が行われる。

道の駅は、公設民営を目ざしており、22年度早々に運営責任者を公募も視野に入れて選定する。継続して独立採算で運営できる施設として、ハード面・ソフト面とも充実した施設づくりをする。

問 道の駅は、運営が大切であるがどのような考えでいるか。

答 賑わいのある施設は、意欲ある運営責任者が必要である。運営責任者に権限を与え、自由な運営を任せることによって活気溢れる



三原道の駅配置計画図（案）

新庁舎とその用地について

問 新庁舎建設は、社会情勢や財政状況など環境が大きく変化している中、市民の皆さんの意見を聞くなど議会でもう少し議論する余地があるので将来課題としてはどうか。

ただ、用地については、市民要望の多い武道館や体育館、港町・宮沖・和田の三保育所の統合、南小・三中の共用グラウンドの解消など政策課題解決のため取得すべきと思うがどうか。

答 選択と集中を行い、限られた財源を有効活用するため、新庁舎建設は、検討対象事業として予算計上していない。

しかし、合併特例債活用のメリットも大きいので、事業規模や実施時期等については検討したい。

一方、三保育所の統合、南小・三中のグラウンドの共用問題、武道館の整備などは解決すべき課題と受け止めているので、用地取得にあたっては、検討し、年内には何らかの案をもって議会へ諮る。

市民協働の取り組みによる障害者支援について



新元 昭議員
しんもと あきら

問 国では、2013年までに障害者自立支援法を廃止し、応能負担を基本とする総合的な制度を作るとしている。

障害者支援については、何よりも関係者が知恵を出し合い、きめ細かな連携と協働から生まれる相互理解や信頼が成果や効果につながり、多くの付加価値を生むものと考えているが、取り組み状況を問う。

答 本市では、福祉、保健、医療、雇用、教育等障害のある人の支援に携わる関係者が協働し、障害者の抱える様々な課題について協議する「三原市地域自立支援協議会」を設置し、障害のある人が住みなれた地域で生活できる支援体制に取り組んでいる。

更に、就労促進等については、県立広島大学、福祉関係者、企業、当事

者の親、行政等で構成する「三原市障害者雇用就労支援あり方検討会」を設置し、当事者を含めた市民協働の取り組みを進め、障害のある人の福祉の向上に努めている。

観光基盤の充実した交流のまちづくりは

問 湯崎知事の提唱された「瀬戸内 海の道1兆円構想」は、人と物の交流を図り、瀬戸内海地域全体の活性化と経済再生を契機として、地域振興策の柱にしようという構想である。積極的な対応

を



幸崎町能地漁港
フィッシャリーナ施設

で観光への取り組みをする中で、幸崎町能地漁港における、フィッシャリーナ施設等を活用し「海の駅」として認定、市や地域の活性化を図る取り組みが必要では。

答 「瀬戸内 海の道1兆円構想」は本市のめざすものと共通した課題に取り組みもうとしている。県の構想に整合するよう努め、県内の事業者や観光関係者にも働きかけ積極的に対応していく。

問 「トライアスロンさぎしま」を観光資源としてとらえ、市の行事として協働の取り組みによる支援をすべきでは。

答 市としては観光振興の立場からも、継続されるよう支援する。今後、三原観光協会や関係機関関係団体との連携を深めながら、積極的に取り組み、観光PRにも努める。

問 観光施設のトイレ等の衛生管理については。

答 トイレは観光振興を進める上での大きな課題と受け止め、県や観光連盟とも連携し、利用者の立場に立った積極的な整備に努める。